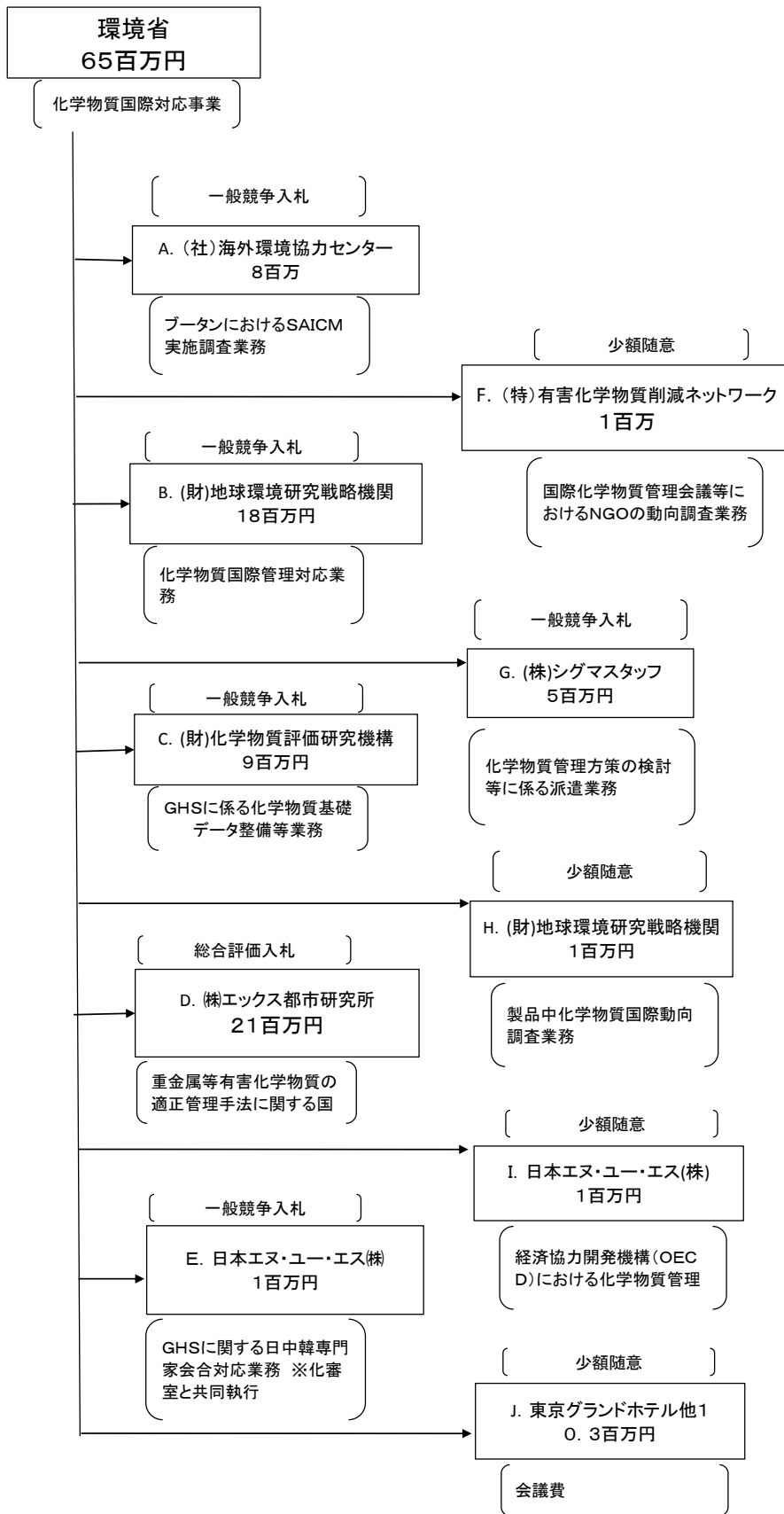


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	化学物質国際対応事業費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部署	環境保健部	担当課室	環境安全課	早水 輝好		
会計区分	一般会計	上位政策	化学物質対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	環境基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	化学物質の適切な管理は国際的な課題として認識され、UNEP(国連環境計画)、OECD(経済協力開発機構)等の国際機関において、化学物質の環境安全性確保に関する活動が活発に行われているところであり、適切な化学物質管理に関する国際動向を把握するとともに国内の対応について検討することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内、 別添可)	<p>1. 化学物質国際動向対応業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2006年に開催された第1回国際化学物質管理会議において採択された「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)」のアジア太平洋地域における実施を推進するとともに、国内でのSAICMに関する普及・啓発を行う。 ・OECD等において開催される会合や実施されているプログラム等の検討状況及びそれぞれに対する諸外国の対応を調査し、我が国として必要な対応を検討する。 ・化学物質の有害性等に関する分類とラベル表示を国際的に統一使用とするシステム(GHS)について、諸外国における対応状況等に関する情報収集を行う。 <p>2. 化学物質の有害性分類・ラベル調査及びラベル情報の提供</p> <p>GHS未分類の化学物質について分類を実施するとともに、分類済みの化学物質については新たな知見や国際動向を踏まえつつ結果の見直しを行う。</p>					
実施状況	<p>1. 化学物質国際動向対応業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア太平洋地域におけるSAICM実施の推進に向けて、化学物質管理能力の向上のためにタイ及びブータンにおける専門家の派遣等を通じた調査・支援を行った。また、水銀含有廃棄物の適正な管理手法について検討するために国際会議を開催し、アジア太平洋諸国等を招致し、技術的指針に関する議論を行った。さらに、国内でのSAICMに関する普及・啓発するためのセミナーを開催した。 ・OECDの第6回工業用ナノ材料作業部会に専門家とともに出席し、ナノ材料に関する国際的な議論をフォローした。 ・日中韓3カ国におけるGHSの実施状況及び分類結果等の比較検討を行った。 <p>2. 化学物質の有害性分類・ラベル調査及びラベル情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GHS未分類の266物質の環境に対する有害性について分類を実施するとともに、既に分類済みの99物質等について分類を結果を見直した。 					
予算の状況 (単位:百万円)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)	-	-	37	86	-
	執行額	-	-	65		
	執行率	-	-	176%		
総事業費(執行ベース)	-	-	65			
自己点検	支出先・使途の把握 水準・状況	各種事業を執行するにあたっては、企画立案段階から請負者と綿密に打ち合わせを行うとともに、実行段階においても、電子メールや電話を用いた報告や相談を受けるなどして、連絡を取りつつ執行しており、化学物質の国際的な動向等への対応に資する内容となっていることを把握している。				
	見直しの余地	化学物質は国際的に流通し、また国境を越えて汚染を引き起こすことから、SAICM(国際的な化学物質管理の戦略的アプローチ)の採択やPOPs条約及びPIC条約等の条約の制定等の国際的な協調の下でその対策を進めることが不可欠。特に、化学産業の発展が著しいアジア太平洋地域諸国の能力向上支援、国際的に流通する化学物質の有害性情報の整備・提供等は国際的な化学物質管理の推進にとって重要である。 なお、化学物質管理に関する国際的な動向に適切かつ効率的に対応するため、各種の事業を推進するにあたっては、有識者の知見を聴取し活用するとともに、廃棄物管理や大気汚染対策等の関連する分野との協力・連携を取りつつ効率的に事業を推進している。また、事業者の選定にあたっては、一般競争入札に移行するなど、事業の効果的、効率的な執行に努めており、今後も不断の点検を行っていく。				
化予 算 監 視 の 効 果 率						
補 記						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (社)海外環境協力センター			E. 日本エヌ・ユー・エス㈱		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ブータンにおけるSAICM実施調査業務	8	雑役務費	GHSに関する日中韓専門家会合対応業務	1
計		8	計		1
B. (財)地球環境研究戦略機関			F. (特)有害化学物質削減ネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	化学物質国際管理対応業務	18	雑役務費	国際化学物質管理会議等におけるNGOの動向調査業務	1
計		18	計		1
C. (財)化学物質評価研究機構			G.(株)シグマスタッフ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	GHSに係る化学物質基礎データ整備等業務	9	雑役務費	化学物質管理方策の検討等に係る派遣業務	5
計		9	計		5
D. (株)エクス都市研究所			H. (財)地球環境研究戦略機関		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	重金属等有害化学物質の適正管理手法に関する国際動向対応業務	21	雑役務費	製品中化学物質国際動向調査業務	1
計		21	計		1

I. 日本エヌ・ユー・エス(株)			M.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	経済協力開発機構(OECD)における化学物質管理動向調査業務	1			
計		1	計		0
J.東京グランドホテル			N.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	会議費	0.2			
計		0.2	計		0
K.			O.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
L.			P.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。使途と費目
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)